

令和2年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 株式会社明電舎、東亜グラウト工業株式会社	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 (株)明電舎 営業企画本部 推進部 宣伝課 主任 馬淵沙織 TEL: 03-6420-7536 FAX: 03-5745-3030 Email: mabuchi-s@mb.meidensha.co.jp
代表者氏名 株式会社明電舎 代表取締役社長 三井田健 東亜グラウト工業株式会社 代表取締役社長 山口乃理夫	
部門名 民間 部門	事例名：「Guessイイ!!(下水イイ)プロジェクト」発進！ (下水道から考える未来の防災プロジェクト)



●私たちはGuess(下水)イイ!!プロジェクト立ち上げました

若者に下水道の重要性を知って貰うため、明電舎、東亜グラウト工業と朝日新聞DIALOGでプロジェクトを立ち上げました。「Guess」＝「推測する・解き当てる」という意味を「下水」とかけ、目には見えない下水道を題材に、私たちの暮らしを支えてくれるたくさんの「見えない何か・誰か」に思いをさせてほしい、また、下水道に「イイね!」とプラスのイメージをもってほしいという願いをこめました。

●目的は下水道の重要性や価値が若者に「伝わる」こと、そのために・・・

ステップ① 大学生主導で高校生向けの授業案を作成 (2019年12月@朝日新聞社本社)

下水道事業プロである「企業」が伝えるプロの教育実習経験のある「大学生」に下水道の重要性を伝え、大学生自身が重要・魅力と感じた下水道の役割や価値を自分ごととして「高校生」に伝える授業案を作成。



下水道の役割・魅力・課題や新しい可能性まで企業と大学生が真剣に議論する様子をWEBメディアで記事化↑



本セッションにより大学生の下水道伝道師(ファン)9名が誕生!

ステップ② 高校生自ら考えて発表する体験型出前授業 (2020年2月20日@東京都立総合工科高校)

出前授業を実施、大学生からの講義で「内水氾濫」を題材に下水道の知識を学び、高校生自ら下水道が抱える「課題」を想像して導き出し、さらに、その課題解決方法を自ら考え下水道のプロに提案した。「高校生に伝わる」ことで、*企業にとっても新ビジネスを生み出すようなアイデアを得ることができた。



将来のまちづくりを担う都市工学科クラスで授業を実施。



*高校生からは下水道のプロも驚くような提案が!「プレゼン楽しかった!」との感想多数。こちらの様子もWEBメディアで記事化↑



ステップ③ 20年度開催に向けて企画会議 (2020年3月9日@東亜グラウト工業本社)

本企画を通して下水道を題材に、暮らしを支えてくれるたくさんの「見えない何か・誰か」を一緒に考えることは若者の将来、ひいては日本の未来を豊かにすることにつながると確信。継続実施する。



私たちの生活はいろんな人たちに支えられていて、自身も無関心ではダメということがわかった。高校生だけでなく中学生へも伝えていきたい (by*大学生)



生徒にとって、自分たちが普段学んでいることと将来の仕事とリンクさせる機会になった (by*教諭)

エントリー事例の特徴

**平均滞在時間90秒以上の記事はエンゲージメントが高いと評価される

- ・業種横断的(土木・電気・学生・メディア)な協働広報の実践
- ・参加者全員(高校生・高校教諭・大学生・メディア・企業)がHAPPY(*)になった
- ・WEBメディアでの記事化(44, 201PV獲得/平均滞在時間4分以上**)とSNSにより取組が拡散
- ・今後成長拡大する継続的な取組である(セッションへの新規参加者検討・出前授業先の全国展開等)

付属資料の提出

(あり) ・ なし (どちらかに○)